

台風・豪雨に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう



全戸に配布している「筑西市洪水ハザードマップ」

梅雨のシーズンとなり、例年梅雨から秋にかけて台風や豪雨など風水害が多く発生するようになります。どんな災害にも、日頃の備えが最大の策です。そこで、市民記者の栗原幸雄さんと一緒に、筑西市洪水ハザードマップを見ながら避難行動を確認してみました。



市民記者 栗原幸雄さん

避難行動判定フロー

あなたがとるべき行動は？

筑西市洪水ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

必ず取り組みましょう

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、筑西市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です。

例外

【浸水の危険があっても】

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

以上の場合には自宅に留まり、安全確保をすることも可能です。

【土砂災害の危険があっても】

十分堅牢なマンションなどの上層階に住んでいる場合は自宅に留まり、安全確保をすることも可能です。

家には高齢の両親がいるから、時間はかかりそうだ。



自分又は一緒に避難する人は、避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？（分散避難）

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難！

警戒レベル3が出たら、指定避難所に避難！

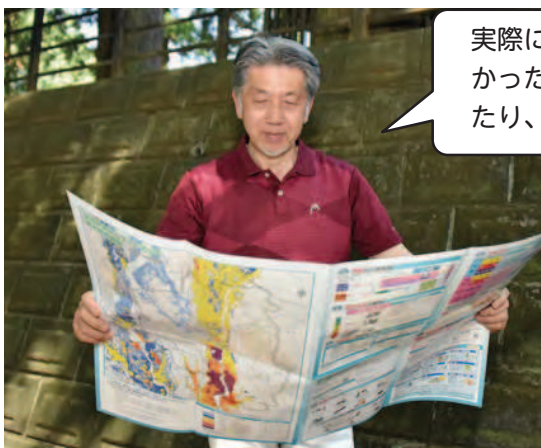
安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？（分散避難）

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難！

警戒レベル4が出たら、指定避難所に避難！



実際に避難所までのルート歩いてみて、かかった時間を確認できて良かったです。思った以上に時間がかかったり、歩きにくい道などがあつたり、新しい気づきがありました。早めの行動を心がけたいですね。

ハザードマップや「避難行動判定フロー」、「避難情報のポイント」など詳しくは、ホームページをご覧ください。



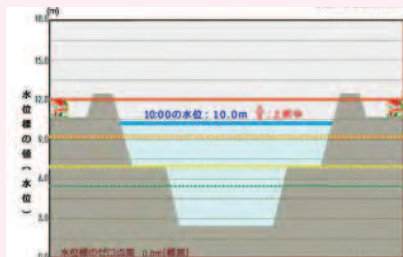
問 消防防災課（下館庁舎） ☎ 24-2132

身近なツールを活用して 防災力を高めよう

自分を守るために大切なことは、防災に関する知識を身につけ、災害発生前から情報を収集し備えることです。各機関からさまざまな情報が発信されていますので、確認していきましょう。

川の情報はここでチェック

国土交通省ホームページ「川の防災情報」



川の防災情報



XRAIN GIS 版

テレビで防災情報を

デジタルデータ放送からも災害情報を見ることができます。チャンネルをNHKのデジタルテレビ各チャンネルに合わせて、リモコンの「dボタン」、「dデータ」などと表記されたボタンを押すと、ご覧いただけます。
※発信情報：気象注意報・気象警報、河川水位・雨量、避難状態の発令状況、避難所開設状況、避難情報など



Yahoo! 防災速報アプリの紹介

市では、災害発生時に必要な情報を迅速に提供するために、ヤフー(株)と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しています。この協定に基づき、同社提供の「Yahoo! 防災速報」を活用した防災情報の発信を行っています。



iPhone 版



Android 版

今すぐアプリをダウンロード

警戒レベル4で危険な 場所から全員避難！

災害発生時の被害を最小限にするためには、自主防災組織を中心に、地域住民がお互いに協力し、防災活動を行うことが大切です。



警戒レベル3や4で、地域住民で声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう



避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。